

1. **公約**は市民の皆様との**約束**！

風化させることなく実現に取り組みました

	I 期目	II 期目
行革	女性懇談会スタート（全域 46 回） 市民行政評価委員会（2.5 億削減） 市民課窓口サービス時間延長 職員の民間企業研修	新たに若者懇談会、高齢者懇談会開催 行革委員会で行革の進捗管理 道路維持予算を事務所で即断即決 管理職試験導入
教育	移動教育委員会をスタート→継続 少人数指導助手を 30 人に倍増 → 総合型地域 <u>スポーツ</u> クラブ設立	ふるさと中津川の学習推進 少人数指導でチームティーチング学習 小中学校耐震化促進（東濃 1 位）
コミュニティづくり		がんばる地域サポート事業創設 地域おこし協力隊 集落支援員配置 8 地区に専任公民館長配置 UI ターン者用住宅整備（5 地区）
福祉	発達支援センター「つくしんぼ」新設 「障がい者雇用促進協議会」（県下初） 子どもと高齢者の「坂本ふれあい施設」 在宅介護支援センター増設（県下最多） <u>コミュニティバス</u> 路線増 子ども医療費無料化拡充 →	各地に発達支援センター「どんぐり」開設 「障がい者雇用奨励金制度」新設 子育て支援センター（市内 5 ヶ所） <u>地域総合医療センター</u> 開設 遠距離バス通学助成 事業 中学生まで医療費無料化

	I 期目	II 期目
暮らし	材料支給の住民参加事業 開始 光ファイバー網整備 開始 → 防災士養成研修費助成 「安全情報メール」(登録 2 万 8 千) 城山大橋無料化の取り組み 安全安心まちづくり条例の制定実施	光ファイバー網完成 (加入率 52%) 住宅耐震化条例制定 (取組県下 1) 家具転倒防止推進 神坂スマートインター事業推進 地域安全ボランティア活動展開
産業	企業立地奨励金制度 新設 駅前にぎわいプラザ整備 勤労者総合支援センター 開設	森の合板工場誘致 六斎市など中心市街地活性化取組 農産物のファーマーズマーケット 下呂市との広域観光連携
自然	生ごみ堆肥化モデル事業 下水道のスピードアップ (阿木供用) 景観条例の制定と実施	太陽光、小水力発電の取り組み 下水道のスピードアップ (坂本供用) 清流のふるさとづくり着手
文化	蛭子座改修 山口公民館改修 藤村記念館 隠居所改修 ウォーキングの道づくり運動開始	地歌舞伎「上海万博公演」支援など 付知町公民館耐震化 中山道 (新茶屋～落合) 国史跡 子ども金メダル事業

公約について

I 期目市長就任後、間のない 6 月議会における「所信表明」で、
「公約を風化させることなく着実に実行して、市民の皆さんの熱い期待に応えてまいります」と申し上げ、その一心で仕事をしてまいりました。

公約の実行は市民の皆さんとの信頼関係の基としてこだわりを持って取り組んでまいりました。

2. **新聞で話題となった事件などの対応実績**

(1) **合併のスタート**

- 各町村に紆余曲折がありました。とりわけ山口村の越県合併については長野県議会の議決が困難でした。
- 3泊4日で長野県議会棟に詰め、お願いし続け、平成16年12月24日に異例の議員提案で議決を得ました。
- それを受け素早く、合併後の体制を想定して、8市町村同時に平成17年1月1日に人事異動を行い、予定通り2月13日に合併することが出来ました。

合併記念式典での挨拶

合併は、過去からのゴールではなく、未来に向かってのスタートです。「多様性のなかの統一」という理念のもと、それぞれの地域がその歴史を踏まえて、自然や文化を磨き、お互いにその個性を認め合いながら、それぞれの持てる力を合わせて統一的に行動することによって活力を増し、心から「合併してよかった」と言えるようなまちづくりをしていきたいと思えます。「未来志向」で、「みんなで みんなの 新中津川市」を創っていききたいと思えます。

(2) **安全安心のまちづくり**

- **安全安心まちづくりのモデル都市宣言**を行いました。
- 「**中津川市安全安心まちづくり条例**」を制定しました。
- 「**中津川市安全安心まちづくり推進市民会議**」を設立し、見守り隊の活動など強力的に防犯活動を実施しました。
安全情報メール登録2万8千名、青色パトロール18台はダントツで県下1位!
- 「**地域非行対策部会**」を創設し、非行を防止しました。
- 空き家、空き店舗などの**たまり場をリストアップ**し、そこに出入りする青少年を指導するとともに、持ち主に適正な維持管理を依頼しました。
- その後、市民会議には「**いじめ対策部会**」も設置しました。

(3) リーマンショックにおける「緊急経済対策」(総額 81 億円)

平成 20 年 11 月にいち早く「全市緊急経済対策本部」を設置し、平成 23 年度までに 17 回にわたって経済対策の予算を編成しました。

- **中小企業への金融支援** (約 6 億円)
中小企業小口融資 213 件、小規模事業者経営改善融資 27 件
アグリサポート資金 17 件、園芸農家緊急支援対策資金 14 件
- **公共事業の追加、前倒し発注** (約 46 億円 228 事業)
- **プレミアム商品券** 3 万組の発行 (約 3 千万円)
- **緊急雇用対策** (約 8 億円)
市役所の臨時職員など 510 人、事業所に対する助成 211 人
- **その他** (約 20 億円)
奨学金緊急枠 10 件、新築住宅の固定資産税減額 314 棟

(4) 「東日本大震災」救援活動

「全市災害救援対策本部」をいち早く設置し、市民の皆さんの協力を得て総額 5,400 万円の予算で救援活動を実施しました。

市民の皆さんの熱いご協力に感謝申し上げます。

- **救援物資** (約 6 億円)
7 回にわたり石巻市、名取市、相馬市へ届けました。
- **義援金**
総額 1 億 3 千 5 百万円余 (東北 3 県、原発周辺町村へ)
- **市民ボランティア**
3 月 24 日から 8 月 22 日まで 10 回。延べ 289 名
- **職員派遣**
震災直後 (短期) 延べ 62 名。石巻市など (長期) 5 名

(5) その他解決した課題

- 福岡産廃処理場問題
- アスベスト処理問題